

わたしの 妊娠報告書

記載日 26年4月5日

おめでた宣言日	26年 2月
年齢 (29) 歳	平成 (22) 年 (8) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(4) 年 () ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング法、人工授精、体外授精)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (?) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 (3) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

ネットを見ては、色々なものに興味をもって試してみたり
しましたが、3日坊主な性格で何も続かなかつた。唯一、最後
までしていたのは、腹まきでお腹を冷やさないようにしていました。
妊娠する半年前ぐらいから、体のために、通勤方法を、バイクで5~10分
から、徒歩30分に変えた。お風呂も毎日できるだけしっかりした。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

結婚後すぐ、異常な不正出血があり、通院が始まり一連の不妊治療を他院でしました。治療内容等に不信感があり、評判のよいASKAに転院をしました。年齢のわりに卵の質が良くないらしく、顕微授精をしても、いつも授精卵が1個しか出来ず、3CCとグレードも一番低くて、判定で陰性となつた時は、また「薬～注射～採卵」があ...と、気持ちがあつく落ちこんだ。

その他 (通院・治療費・家族など)

ASKAまでは片道1時間でした、仕事をしているので仕事終わりは正直しんどかったです。治療費も共働きましたので苦にはならなかったけど、さあがに顕微が3回続いた時は、ギリギリでした。旦那は治療にとても協力的で、体がしんどい時は家事を全てしてくれていました。2人共、子供を望む気持ちは同じでしたが、結婚も5年目、なかなかうまくいかず大きなケチをしてしまい、治療を頑張る気持ちが自分自身なくなってしまう『最後の顕微』と決めて行った中、治療中の方へのアドバイス 初め授精卵が2つ、グレード3BCが出来て妊娠しました。

職場でも友人の間でも、周りがごく自然に結婚・妊娠・出産を経験している中で、なぜ自分はお金も時間もかけているのに出来ないのか、いつまで通院あるんだろうと、いつも考えていました。でもASKAに行くと大勢の方、夫婦がいてみんな同じように頑張ってるんだと、いつも勝手にほげまされてました。治療がお休みの期間に旦那と旅行にたくさん行ったのも良い思い出です。

スタッフへのご意見など

約半年、本当にありがとうございます。いつも笑顔で接してくれるスタッフの皆さん、注射の時「痛いよ、ごめん!!」って優しくゆってくれるお姉さん、ダメで落ちこんで泣いてる私、喜んで泣いている私に寄り添って下さった担当の藤木さん、そして、初めは「の先生淡々としてるなあ」と思ったけど(スマイセン)、おカティクになつたあ私に「うれしいなあ、次がんばろ!」と言って頑張らせて下さった中山先生ありがとうございます!!